



それぞれの支部で作成した「かわら版」をもつ
つ本会地域福祉担当者。社協のホームページ
で各支部のものを見ることができます

より身近な地域での活用を 「支部活用払い出し」

この協議により平成21年度から始めたのが、「支部活用払い出し」です。

これは、「より身近な地域で自分たちの善意を活用してほしい」という意見を取り入れました。

この払い出しは、各支部で受け付けた預託金の約1割をその支部の活動に役立てるもので、その使途は支部ごとに設けられた「地域福祉推進委員会」で協

議しています。

平成23年度は、地域で行われるふれあい活動への貸出備品やボランティア活動の機材等の購入に活用しました。

善意銀行預託金で作成した 「社協支部かわら版」

この1月から支部ごとに作成、配布している「社協支部かわら版」も、善意銀行預託金を活用した取り組みです。

この取り組みは、「宍粟市社協

第2次地域福祉推進計画（つながりふくしプラン）で掲げた活動項目のひとつでそれぞれの支部域で行われている小地域福祉活動やボランティア活動などの紹介や、社協活動への参加を呼びかけています。

かわら版は各支部地域福祉推進委員会で編集会議を開き、記事の検討や取材、執筆などを役員で分担し作成しました。今年度も年間2〜3回の予定で発行することになっています。

平成23年度宍粟市善意銀行の収支状況

○収入 (円)

寄 付 金	収入金額
6月善意の預託	5,367,062
一般預託	11,653,495
23年度預託金合計	17,020,557
利息	2,614
前年度繰越金	2,407,842
収 入 合 計	19,431,013

○支出

払 出 し の 内 容	支出金額
自治会福祉連絡会への助成金として	4,657,450
福祉関係団体への助成金として	600,200
「子育てサロン」など子育て支援事業へ	219,680
「介護者のつどい」「男性介護者のつどい」など当事者支援事業へ	44,155
各種イベントでの社協活動の啓発費用として	125,008
第2次地域福祉推進計画策定事業へ	204,380
地域福祉推進事業へ	7,249,127
結婚相談事業に	411,000
支部ごとに行う地域福祉推進事業（支部活用払い出し）へ	682,812
家屋火災見舞金に	30,000
寄付者へのお礼品の購入費用として	112,896
その他善意銀行運営経費	83,794
支 出 合 計	14,420,502

平成24年度へ繰り越し 5,010,511

6月の善意の預託に ご協力ください

このように善意銀行は、宍粟市の地域福祉活動に大きな役割を果たしており、なくてはならない貴重な財源です。今年度も善意銀行へあたにかい気持ちを寄せいただきませう、よろしく願いたします。

また、6月の善意推進月間には、自治会長さんを通じて、各家庭へ『善意の預託袋』を配らせて頂きます。毎年のこととで誠に恐縮に存じますが、ご協力をお願いいたします。



街頭における善意の日の啓発
～イオン山崎店（H23.6.1）～

読者の
感想より

3月号の「いきいきライフ」で紹介された千種の8人の子どもたち、このままずっと仲のいい友達でいてほしいです。ほほえましい写真、心がほっこりしました。（山崎町 女性）